

Data(2013年5月現在)

所在地：〒602-0857 京都府京都市上京区清和院
口寺町東入中御霊町 410

スタッフ：星野明子(教授)、白井香苗(講師)、三
橋美和(講師)、村上佳栄子(助教)

URL <http://www.f.kpu-m.ac.jp/c/>



京都府立医科大学医学部看護学科 地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学の看護教育は今年で125周年を迎えます。この歴史の中で培われてきた「Heart, Hand, Head」の精神を受け継ぎながら、2002年に看護学科へと改組、2008年には大学院保健看護研究科を開設しました。保健師教育の歴史も古く、1951年近畿保健婦専門学校に始まり、京都府立保健師専門学校、医療技術短期大学専攻科を経て現在に至ります。京都府をはじめ、全国で活躍する先輩たちのHotかつCoolなサポートがいつも身近にある教育環境です。

Education

どのような研究活動を行っていますか？

私たちは行政保健師の経験をもとに、変容する地域社会における人々の健康課題について考え、人々のセルフケア能力を高め、地域の健康レベルを守るための支援方法について検討しています。メンバーの研究は、京都市超高齢化地域の商店街でのアクションプランの実施と評価、地域の精神障害者の睡眠障害への支援方法の開発、リンパ浮腫セルフケアを必要とする患者のグループ化支援、京都の中北部山間地域の限界集落で暮らす独居高齢者の暮らしの持続可能性の探索についてなどです。

Research

どのような教育をしていますか？

本学では、地域で暮らす個人・家族・集団を視る力、動かす力を大切に育てています。講義では、主に概論と理論、実習では講義と連動させて個別・集団支援から保健師の専門的技術を学習しています。また地域診断をベースに地域の特性、住民の生活実態、それに対する保健師の援助技術を実感し、実習全体をとおして健康課題についての理解を深めています。2015年度から始まる保健師選択制の実習では、保健師に求められる高い実践能力を形成し、教育の質と充実を図っていきます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

京阪神地域在勤の現任保健師を対象に、他大学と合同で月1回の予防看護学研究会を開催し、情報提供と、現場での事業や活動評価をするための学習機会、活動報告の機会を提供しています。また、府や市町村が主催する現任保健師研修会や、現場からのニーズに応じた学習会での講師活動、複数の自治体への健康増進計画策定への協力を行っています。さらに、市内の商店街で空き店舗を活用した「すこやかサロン」を定期的に開き、地域住民の健康相談と交流の場を提供しています(「すこやかサロン」活動の詳細は、本誌2010年2月号をご参照ください)。

ひとこと

私たちは、地域看護学(公衆衛生看護学)における保健師の熱い心を学生へ伝えたい！と日夜奮闘しています。また、京都府・府内市町村・京都市における保健師の人材育成や、保健師活動の評価などに協力して、大学と実践の連携を大切に築いています。

……星野

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp